

2018年春 入試問題紹介

教科担当者が選ぶ「この1問」

保護者向け総合情報サイト「さぼナビ」で好評連載中の「カコモンにTRY!」の特別版として、数ある難関校のなかから中学受験コースの教科担当者が選んだ、差がつく「この1問」をご紹介します。まだこれらの問題が解ける必要はありませんが、この機会に難関中学の入試問題を体験してみてください。

「カコモンにTRY!」特別版



国語 R.N. 担当者が選ぶこの1問
開成中学校 大問 三

中学入試では漢字の問題は必出! 熟語の知識は読解問題を解くにも大切

中学入試において漢字の問題は必須事項です。学校によってはただ漢字を書く問題ではなく、ひねりのきいた問題が出題される場合があります。今回ご紹介する問題は、そのひねりのきいた問題です。時間制限の厳しいなか、上の漢字から続く二字熟語を作ると同時に、下の漢字へ続く二字熟語を作ることができる漢字は何か、ということを考えなければなりません。漢字自体は小学校で習ったものしか出題されていませんので、それぞれの漢字にはどのような熟語があるのかをきちんと習得していることが重要になってきます。読解問題に時間を残すためにも、ここはスムーズに解いておきたい問題です。

差がつく! 学習アドバイス

熟語の知識は、読解の大切なポイントになることがあります。自分で問題を解くなかで、まちがえたりわからなかったりした熟語は、そのつど復習することが大切です。Z会中学受験コース国語では、タブレットドリルや「漢字と言葉 練習ブック」で漢字や熟語などの学習に取り組むことができます。毎日の積み重ねが大切になる分野ですので、タブレットドリルや「漢字と言葉 練習ブック」を使って確実に自分の力にしましょう。また、中学入試では時間制限も大きな難所となりますので、こういった漢字や言葉の問題を解く際は、「〇分以内で解く」といった自分なりの目標を立てて取り組むとよいですね。

以下に問題にある熟語①～④には、それぞれ上の漢字から続いて「二字熟語」を作り、下の漢字へ続いて「二字熟語」を作ることができる漢字が入ります。空欄に入る漢字については、例題①のように、上の漢字から続く熟語の場合、下の漢字へ続く熟語の場合、同じ読みになる場合もありますが、例題②のように、異なる読み方になる場合もあります。空欄①～④に入れることのできる漢字を答えなさい。なお、人名・地名などは熟語にふくまれません。

・例題① 安()理 答え「心」 例題② 劇()所 答え「場」

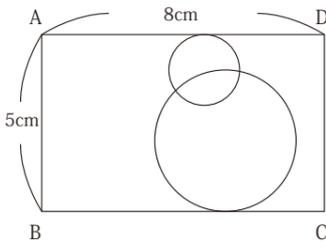
・問題 辺 状 ① 度 下 ② 順 博 ③ 別 意 ④ 式

時間をかけずに答えたい
二つの熟語に共通の漢字を答える問題



算数 江上 智美 担当者が選ぶこの1問
ラ・サール中学校 大問 4

4. 図のように、半径1cmと2cmの2つの円が、それぞれ長方形の内部を辺に接しながら動きます。このとき、次の問に答えなさい。ただし、円周率は3.14とします。(14点)
- 半径1cmの円が通過できる部分を解答欄の図に斜線で示しなさい。また、その面積を求めなさい。
 - 2つの円のうち、一方のみが通過できる部分の面積を求めなさい。



ハイレベル校でよく見られる
自分で図をかいて答える問題

自分で図をかき問題では、 美しさではなく正確さがポイント!

長方形の中を動く円の、通過できる範囲を考える問題です。長方形と円の位置関係は図で与えられていますが、ここから実際に動いたときの様子は自分で考えていく必要があります。このような出題は、難関中学の入試ではよく見られます。ポイントになる部分(今回は、円が長方形のかどにいたりするとき、円が通過しない部分の明示など)を正しく押さえた図がかけられるように練習しておきましょう。面積を求めるときにも、図が非常に活躍します。解答用紙に図をかくの(1)のみですが、(2)についても、必要な部分をpushして図に表してから、面積を考えるようにしましょう。

差がつく! 学習アドバイス

実戦的な演習が増えるにしたがって、平面図形や立体、さらにはグラフなども、「自分でかかないとわからない」場面が増えていきます。Z会中学受験コース算数では、4年生の1月で「円」、5年生の6月・7月で「立体」、8月で「相似」について、それぞれ学習します。また、5年生の12月～6年生の実戦的な演習の中でも、図形を題材とした問題を多く取り上げています。これらの回の中で、映像授業の先生と一緒に状況を図にまとめる練習をすることで、図をかき必要のある問題の見きわめ方や、実際に図をかきときのポイントなどを身につけましょう。



理科 高安 智子 担当者が選ぶこの1問
四天王寺中学校 大問1 (8)

2017年の夏に日本の各地の港で、南アメリカ原産の毒をもつヒアリが多数見つかりました。外国ではヒアリにさされて死亡した例もあります。日本では1995年にオーストラリア原産の毒グモであるセアカゴケグモが大阪で発見され、その後、日本各地に住み着いていることがわかりました。このように外国産の生物が貨物にまぎれて日本に運ばれたり、ペットとして飼育されていた動物が野外に捨てられたりして日本に住み着いた生物を外来種と言います。ヒアリも今後の状況によっては日本に定着する可能性があります。

- (8) 下にあげた生物から日本に定着した外来生物を2つ選びなさい。
- | | | |
|----------|--------------|--------|
| 1 アライグマ | 2 セイタカアワダチソウ | 3 イノシシ |
| 4 ツキノワグマ | 5 ススキ | |

国内でのヒアリ発見のニュースに関連した
外来種を選ぶ問題

理科関連のニュースに注目し 関連する単元について確認しておこう

理科の入試問題では、時事的な内容を題材に出題されることがあります。ここでは、2017年の夏に日本の港でヒアリが見つかったことに関連して出題された外来種(外来生物)についての問題を取り上げました。2017年の理科関連のニュースに注目していたか、また、ニュースの内容を覚えるだけでなく、関連する単元の内容がしっかり身についたかがポイントになります。今回取り上げた問題は、外来種についてしっかりと学習しておけば解くことができる問題です。

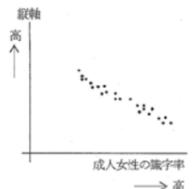
差がつく! 学習アドバイス

Z会中学受験コース理科では、実験・観察の問題を多く取り入れ、結果を読み取る練習や、知識を組み合わせて考える練習を積み、思考力を鍛えます。知識を固めたあととは、多くの問題に触れ、慣れることが大切です。また、時事問題は、ニュースを事実として知るだけでなく、その事柄に関連した知識も身につける必要があります。今回は外来種の問題を取り上げましたが、時事問題では、地学分野からの出題が多いので、天体、地震、火山、気象関連の大きなニュースがあった場合は、関連している単元について確認しておくことをおすすめします。



社会 鈴木 尚文 担当者が選ぶこの1問
女子学院中学校 大問 IV 問7

- 問7 いろいろな国について、成人女性の識字率を横軸に、ア～オの数値を縦軸にしてみたとき、右の図のようになるものをすべて記号で答えなさい。
- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| ア 5歳未満の子どもの死亡率 | イ 小学校に通う児童に占める女子の割合 |
| ウ 平均寿命 | エ 小学校に入学した児童のうち5年間在学できた児童の割合 |
| オ 合計特殊出生率(女性が一生の間に産む子どもの数の平均) | |



初見だからこそ読み取り方で差がつく
統計資料の問題

グラフが示す2つの項目の 関係性を読み取り、 選択肢をグループ分けしよう

成人女性の識字率について考える問題です。示されている図は散布図といい、2つの項目の間に関係があるかをみるのに用いられます。ここでは、一方の項目の値が高くなると、他方の項目の値が低くなる関係にあると読み取れます。つまり、成人女性の識字率が高い国ほど低くなる項目を選べばよいとわかるかがポイントです。選択肢にはふだんの学習では見慣れない項目も含まれていますが、「成人女性の識字率が高い国は先進国」と大まかにつかみ、選択肢を正しく2つのグループに分けて、正答にたどり着きたい問題です。

差がつく! 学習アドバイス

Z会中学受験コース社会では、5年生から統計資料に多く触れることで、考えて解く力を養っていきます。統計資料の問題は、どのようなことが読み取れるのかを見きわめ、自分の言葉に変換する力が必要です。資料を見たときは、気づいた点を書き出すよう習慣づけておくといでしょう。また入試では、単に知識を答えさせるだけではなく、今回の問題のように、見慣れない資料や項目とからめて出題されることもあり、自身が身につけた知識や理解をいかに運用できるかが問われます。普段の学習から落ち着いて題意をつかみ、的確に答えるトレーニングを重ねましょう。